新アトラクションが人気

京都　東映太秦映画村

「立体迷路」「忍者屋敷」など

東映太秦映画村（京都市右京区）では、リニューアルで多数登場した新アトラクションが人気を集めている。

3月14日にオープンした「立体迷路　忍者の砦」は、高さ10㍍、3階建て240ブロックの屋内型立体迷路で日本初登場。屋内の特性を生かし迷路の中には岩落とし、つり天井など忍者の仕掛けたギミックやアスレチックが楽しめる。知力コース、体力コースから好きなコースが選べ、コース別の三つのスタンプを集めながら最上階のゴールを目指す。入り口で刻印を押しており、クリア時間を比べたり、上忍タイムを目指したりいろいろな楽しみ方がある。

「からくり忍者屋敷」は、「どんでん返し」や「隠し通路」など、たくさんのからくりを利用して忍者屋敷の出口を目指す。

「東映アニメミュージアム」では、東映アニメの歴史を貴重なポスターやセル画集などで紹介。トレース体験ができる。

「浮世絵ギャラリー」は、巨匠葛飾北斎の浮世絵（復刻版）に描かれた富士山を展示する。

「まるごととびだす超立体360シアター」は、3Dメガネの着用で周囲360度全周型の大スクリーンに迫力のある3D映像が映し出される。

「おもしろ迷路館」は、錯視を利用した不思議な感覚が味わえる迷路の中に「錯覚の部屋」「鏡の迷路」「斜めの部屋」といった部屋を設けた。

「太秦トリックアートの館」は、映画村らしい和をテーマにしたトリックアートが楽しめる。

「忍者修行道場」は、手裏剣や丸太橋渡り、城壁のぼりや鳴子くぐりなどさまざまな忍者の試練が体験できる。

修学旅行生には、体験学習プログラムが人気。「見る・学ぶ・作る・参加する」をテーマに、京扇子、京うちわの手描き体験のほか、清水焼絵付け体験などがある。

班別研修用には、少人数用のメニューとして、清水焼ろくろ体験、清水焼絵付け体験、京扇子絵付け体験、京念珠ブレスレット作りがある。いずれも1回で15人まで体験できる。旅の思い出の品になると好評だ。

映画村ならではの体験としては「お手軽な時代劇扮装」がある。メイク、かつらを省いて着物の着付けのみのお手軽プラン。短時間で変身し映画村の江戸の町を散策できる。

「寺子屋おもしろ体験」は、江戸庶民の生活の知恵にスポットを当てた。映画製作用の小道具を使い、映画村の俳優が、時代劇の扮装で講師を務める。「大江戸暮らし編」と「大江戸環境編―江戸時代は循環型社会―」の2コースがある。

パンフレットの郵送、申し込みなど体験学習に関する問い合わせは東映太秦映画村☎075（864）7716まで。

忍者の砦

からくり忍者屋敷

清水焼絵付け

見て、撮って、学べる「トリックアート美術館」

東京トリックアート迷宮館

人気のお台場に開設

芸術を身近に楽しんでもらいたいとの想いから、体験できる絵画として創られた〝トリックアート〟。平面の絵が飛び出したり、見る角度により違う雰囲気の絵に見えたりと錯覚を体験できるのはもちろん、作品と写真を撮ることで生徒の自由な発想を引き出す効果もあり、「楽しみながら美術や心理学について学習できる」と、施設を運営するエス・デー（栃木県那須町）は多くの利用を呼び掛けている。その中心となる施設が栃木県那須町と東京都お台場にあり、中学・高校の修学旅行で注目を集めている。

東京・お台場にある「東京トリックアート迷宮館」は、江戸をテーマにした和風のトリックアートや人気作を展示する体験型の美術館。東京屈指の観光スポット、お台場の中心にあり、多くの一般客や修学旅行客でにぎわっている。毎年7月に作品を入れ替えており、人気作品や最新作も楽しめる展示は来館者に好評だ。

迷路のような館内は、「江戸エリア」から始まる。ここでは、タイムスリップしたかのような感覚で江戸の宿場町や町人町を楽しめるのだが、すべてトリックアートで再現された空間だ。

次の「怖くないお化け屋敷」エリアでは、どこか間抜けで憎めない日本のお化けたちが来場者を待ち構えている。生徒達は思い思いのポーズでお化けと写真を楽しむことができる。

この後にある「トリックアート名作エリア」では、トリックアートの人気作の数々が展示されており、注目なのは人気投票1位に選ばれた「ドラキュラのおやつ」。グラスの中に閉じ込められた演技をすることで、鑑賞者が絵画の中に入ったかのような錯覚が生じる。

「脳トレコーナー」では、脳を刺激する錯視やクイズ作品に挑戦。「グッズコーナー」には、オリジナルグッズや関連書籍がそろっているなど、充実した館内は、遊ぶだけではなく、絵画に親しみ、錯覚を体験できる学習の場となっている。

レインボーブリッジや海浜公園の砂浜を見渡せる「デックス東京ビーチ」（ゆりかもめ「お台場海浜公園」駅前）4階にある。

▽東京トリックアート迷宮館は、東京都港区台場1の6の1、デックス東京ビーチ4階。☎03（3599）5191。不定休で、午前11時から午後9時まで営業。入場料大人900円、中学生以下600円。

一番人気の「ドラキュラのおやつ」

リアルに描かれたジェットコースター

がいこつ武者と記念撮影

女将に服を引っ張られる？

錯覚を楽しく体験

那須とりっくあーとぴあ

栃木県那須町の「那須とりっくあーとぴあ」は、「トリックアートの館」「トリックアート迷宮？（はてな）館」「ミケランジェロ館」の三館で構成された日本で最大のトリックアートテーマパーク。

トリックアートの館は、ペンションを改装した建物の中に、約60種類のトリックアートのいたずらを隠している。中でも圧巻なのは、中庭の壁とプール全体を使って描かれたジェットコースターの作品。複雑な壁面に描かれているのだが、驚くほど自然に、立体的に見ることができる。

このほかトリックアート迷宮？（はてな）館は、「マジックの世界」をテーマにした展示。入った人の身長が変化して見える部屋や、首だけになった写真が撮れるテーブルなど、トリックを体験できる作品が豊富。

ミケランジェロ館は、ルネサンス芸術とトリックアートが融合した美術館。バチカンの有名な世界遺産「システィーナ礼拝堂」は日本最大の作品で、圧倒されるほどの迫力を感じる。

施設には制作スタッフたちがトリックアートの新作を創造する工房を併設。「感受性の高い中・高生に絵画にふれる楽しみを感じてもらいたい」と、制作の現場を直に体験できるように無料で開放している。

▽那須とりっくあーとぴあは、栃木県那須郡那須町大字高久甲上ノ台5760。☎0287（62）8388（代表）。年中無休で、午前9時半から午後6時まで営業（10～3月は午後5時まで、8月は午前9時から）。入場料各館大人1300円、小中学生800円（2館、3館共通チケット、団体割引あり）。

海・島・生きもののテーマパーク

横浜・八景島シーパラダイス

水族館を使った学習

海・島・生きもののテーマパーク、横浜市の「横浜・八景島シーパラダイス」は、水族館を使った学習プログラムを学校団体向けに提供している。

水族館という学校の授業では学ばない環境を見て学習できるプログラムが「アクアミュージアムバックヤードツアー」だ。飼育員の案内で、水族館の仕組みや飼育員の仕事場をのぞく。「水槽の水はなんできれいなのか」といった疑問も解決し、飼育員や動物との関わりを持つ仕事に興味がある生徒にとってぴったりだ。

「うみファーム　観察なっとくツアー」は、海の上に浮いている施設「うみファーム」で、東京湾にどんな生き物がいるかを飼育員と一緒に観察する。温暖化についても学習できる。

生徒の多い学校向けには千人収容できるショープールの会場でイルカトレーナーによるレクチャーなども実施している。

団体での昼食を希望する学校向けには、最大250人収容可能なバーベキューレストランでのプランを用意している。食材の準備なども要らず、焼くだけの簡単なバーベキューなので、生徒全員で楽しく食べられる。遠足などでの利用も多く、リピートする学校もあって好評だ。

予約・問い合わせは横浜・八景島シーパラダイス営業部☎045（788）9632。

バックヤードツアーの様子

焼くだけの簡単なバーベキュー

阪神・淡路大震災

記憶と教訓、後世に

人と防災未来センター

神戸市中央区の「阪神・淡路大震災記念　人と防災未来センター」は、その名称の通り、阪神・淡路大震災の記憶と教訓を後世に伝えるために2002年に開設され、例年約50万人が来館する防災学習施設だ。

阪神・淡路大震災発生の瞬間の再現映像「5・46の衝撃（1・17シアター）」、復興に至るまでのまちと人の様子を描いたドキュメンタリードラマ「このまちと生きる（大震災ホール）」などの映像上映の他、被災者から提供された実物の震災資料展示を行っている。

東日本大震災被災地の1カ月後から2年目の春までを記録したドキュメンタリー3D映像作品「東日本大震災　津波の傷跡2011～2013」も上映している。更地となったまま復興が進まない現状や、津波被害を語り継ごうとする市民の新たな活動など、被災地のいまを改めて知ることができる作品だ。

これからの防災、減災を学ぶためのワークショップスペースもあり、耐震構造や液状化について学ぶ実験コーナーや、防災ゲームなどが用意されている。災害への備えをリスト化した、人と防災未来センターオリジナルの「減災グッズチェックリスト」は展示フロア内で無料配布をされており、また同センターホームページからダウンロードすることも可能だ。

他にも、災害や備えについてワークシート形式で学ぶことができる「災害学習ノート」もダウンロードできるので、センター見学の事前・事後学習や学校での防災学習でぜひ活用したい。

昨今、日本だけでなく世界各地で甚大な被害をもたらす自然災害が数多く起こっている。いつでも、どこでも、誰でも、災害に遭う可能性があるからこそ、過去の災害を知り、そしてこれから起こりうる災害への備えを学ぶ場として活用したい。

震災関連資料の展示コーナー「記憶の壁」

語り部コーナー

時の科学館 儀象堂

時計作り体験

900年前の時計を復元

時計作り体験ができるのが「諏訪湖　時の科学館　儀象堂」だ。指導する技師はすべてセイコーエプソンOB（旧諏訪精工舎）。学校団体の生徒5、6人に技師1人が分かりやすく丁寧に教えるので、安心して体験できる。

小さな子どもも楽しめるビギナーコースから、本格的に機械を組み立てる専門コースまで用意。「時計作り体験を通して、もの作りの楽しさや技術の素晴らしさを知ってほしい」と儀象堂。

約900年前の中国北宋時代（1092年）の時計を復元した、世界でただ一つの大型天文観測時計塔、「水運儀象台」は注目だ。水の力で動くその仕組みや美しい装飾、ユーモラスな細工も見どころだ。

展示室には江戸時代の櫓時計や世界初の水晶時計など400台の時計コレクションがそろう。2階では大型スクリーンで時計の歩みについて上映している。

問い合わせは儀象堂☎0266（27）0001。

水運儀象台

長野県 諏訪湖

オルゴール博物館 奏鳴館

オルゴール作り体験

好みの曲　選んで作る

長野県・諏訪は精密工業が盛んで、特にオルゴールと時計は世界のトップシェアを誇ってきた。

「諏訪湖オルゴール博物館　奏鳴館」は、自動演奏楽器の歴史と仕組みが理解できる。アンティークから現代のオルゴール、ストリートオルガンなどの自動演奏楽器や蓄音機など約120台を展示する。

目玉は「オルゴールつくり体験」。部品の組み立てから箱の装飾まで手掛け、オリジナル作品を作ることができる。日本電産サンキョー（旧三協精機）出身の技術者が指導。音楽は670曲（修学旅行・団体向け320曲）から選べる。

「修学旅行の思い出づくりにどうぞ」と奏鳴館。

1階に視聴器を設置。2階では、時を超えて美しい音を奏でるアンティークオルゴールの生演奏も楽しめる。オルゴールの音色を楽しめるティールームも入館料不要で利用できる。

問い合わせは奏鳴館☎0266（26）7300。

奏鳴館